

## 会 議 録

名 称	第5回「自立支援センター（仮称）板橋寮」地域連絡協議会
日 時	令和2年6月9日（火） 午後6時30分～午後8時
会 場	板橋区役所大会議室
出 席 者	<p>（委員） 町会代表等 2名 地域住民代表 3名 商工会代表 1名          民生・児童委員代表 4名 PTA代表 1名 近隣施設代表 1名          東京都代表 1名 特別区人事・厚生事務組合代表 1名          板橋区代表 1名 （欠席 9名）</p> <p>（事務局） 東京都福祉保健局生活福祉部事業調整担当課長          特別区人事・厚生事務組合厚生部自立支援課長          板橋区福祉部管理課長 板橋区福祉部板橋福祉事務所長</p>
傍 聴 者	4名
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）実施設計について</p> <p>（2）建設工事について</p> <p>（3）今後の予定について</p> <p>3 閉会</p>
配付資料	<p><b>【資料】</b></p> <p>資料1-1 実施設計について</p> <p>資料1-2 実施設計図面(平面図・配置計画図・立面図・日影図)</p> <p>資料1-3 自立支援センター（仮称）板橋寮」に関するご意見・ご要望アンケート結果と対応表</p> <p>資料2 擁壁工事資料(擁壁工事説明資料・工事行程表)</p> <p>資料3 本体工事資料（本体工事説明資料・仮設計画図・工事工程表）</p> <p>資料4 「自立支援センター（仮称）板橋寮」のスケジュール</p> <p>席次表</p> <p><b>【参考資料】</b></p> <p>第4回地域連絡協議会会議録（案）</p>
議事要旨	
<p><b>1 開会</b></p> <p>資料1-1から資料4及び参考資料までの配布資料を事務局が説明した。</p> <p><b>2 議事</b></p> <p><b>（1）実施設計について</b></p> <p>資料1-1から資料1-3により、実施設計について、事務局が説明した。</p> <p><b>事務局：</b>第4回地域連絡協議会において、建物及び居室等の配置については、決定事項として報</p>	

## 会 議 録

告済みのため、委員及び近隣住民からいただいたアンケートを受けて変更したことを中心に伝えた。

### ○雨水排水対策について

- ・擁壁の上に雨水せき止め用ブロック(高さ 20 cm)を配置する。
- ・敷地内に 15 cmほど掘り下げた緑地を作り、浸透した雨水が雨水マスを通して下水道へ排出するようにする。
- ・北側居住地側のアスファルトは、雨水が浸み込みやすい浸透性の舗装を使用する。

### ○騒音対策について

- ・空調室外機は上向きの排気となる機器を選定し、周囲を壁で覆う。
- ・建物の外壁は層が厚く、より遮音性の高いものを選択する。

**会 長**：ただ今の説明について、質問があればお願いしたい。

**委 員**：防災倉庫には何を備蓄するのか。

**事務局**：定員 70 名程度の 3 日分の食料・飲料水などを備蓄する。

**委 員**：防災倉庫の出入口はどこにあるのか。また、南側の宅地側に両開きの門があるが、使わない方がよいのではないか。

**事務局**：防災倉庫の出入口は敷地側にもうけており、物を搬入する時は、迂回するが通常の出入口を利用する。南側の両開きの門の出入口については使用しない。

**委 員**：緑地帯の東側だが、擁壁の横に、水がたまるような湿地帯を作るということは、擁壁の崩れを防ぐために芳しくないのではないか。

**事務局**：緑地内に雨水が常にたまるわけではない。敷地を緑地内に傾けるよう調整し、近隣住民の居住地へ雨が流れていかないように、緑地内へ集まるようにしている。その後、緑地内にも設けてある浸透柵から浸透地下埋管に流れる設計となっている。

**会 長**：建築基準に見合った設計になっているということによろしいか。

**事務局**：そのとおりである。

**委 員**：東側の立面図をみると、二、三階のトイレ、洗濯室に窓がないが、これは窓を設けないということか。換気についてはどのように考えているのか。

**事務局**：トイレと水回りに窓は設けていないが、東側から西側に向かう換気のルートをいくつも作っている。実際には、建物内の換気扇で送られた風が、建物の西側外壁に設置された換気口から排気される計画となっている。

## (2) 建設工事について

資料 2 及び資料 3 より、建設工事について、事務局が説明した。

**事務局**：擁壁工事については、4 月に近隣住民(栄町 1～2 番地、23～26 番地)へ工事内容をポスティングの上、6 月 1 日より工事へ着手していることを報告した。本体工事については、7 月の下旬から来年の 2 月を目途に工事を進めることを報告した。

### ○擁壁工事について

## 会 議 録

- ・工事日程 令和2年6月～7月末まで
- ・工法 間知石積み擁壁
- ・工事概要 解体工事→地盤改良工事→造成工事

### ○本体工事について

- ・工事日程 令和2年7月～令和3年2月
- ・工事概要 基礎工事→本体工事→内装工事→外構工事 ※設備工事も並行。

### ○建設工事における留意点

- ・警備員を配置し、車両の誘導や周囲の警戒を行う。
- ・粉塵対策は、必要に応じて散水を実施した上で工事を進める。
- ・振動、騒音対策は、重機の速度を上げずに十分に配慮しながら進める。
- ・近隣住民の方に工事工程や工事状況を適宜周知しながら工事を進める。

**会 長**：ただ今の説明について、質問があればお願いしたい。

**委 員**：擁壁について 70cm 下げるとのことだが、もう少し配慮できないのか。できれば 4メートルの幅を確保するように擁壁を内側にセットバックしていただきたい。

**事務局**：結論から申し上げますと、この土地はあくまでも都の敷地で、この敷地を維持しながら擁壁の安定を図る上で工法上どれだけバックできるかという観点で結論を出しており、70cm が限界である。また、皆様に安心・安全を提供するために、さらなる安全対策を講じる目的で擁壁工事を実施している。

**委 員**：仮設事務所に窓はあるのか。

**事務局**：換気をするので窓は設置するが、目張りをするなどプライバシーに配慮していく。

### (3) 今後の予定について

資料4により事務局が説明した。

**会 長**：第6回地域連絡協議会については、事務局で調整の上、後日連絡いただきたい。

## 3 閉会